

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（医療法人新仁会 奈良春日病院 第2報 最終報）

医療法人新仁会 奈良春日病院の入院病棟 A において、新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）が発生し、接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから当該院内感染（クラスター）事案は終結しました。

1 発生場所

医療法人新仁会 奈良春日病院 （所在地 奈良市鹿野園町1212-1）

2 感染者の概要

(1) 経緯

入院病棟 A 4月13日に新型コロナウイルス感染症の感染者が判明し、当該入院病棟の入院患者及び職員を対象に検査を行った結果、入院患者 16人及び職員 1人の計 17人の感染を認めました。

(2) 感染者（計 17人）

ア 入院患者 16人（市内 15人、市外 1人）

【内訳】性別：男性 11人、女性 5人

年代：50代 1人、60代 2人、70代 4人、80代 5人、90代 3人
100歳以上 1人

イ 職員 1人（市内 1人）

【内訳】性別：女 1人

職種：看護補助者 1人

年代：60代 1人

※第1報（4月18日）以降、入院患者 5人の感染が判明しています。

3 病院の対応

- ・ 4月13日～
 - ・ 感染予防策の強化、徹底及び関係場所の消毒の実施。
 - ・ 入院病棟 A の入院患者及び職員に対し検査を実施。
 - ・ 入院病棟 A の新規入院を中止。
- ・ 4月28日～
 - ・ 入院病棟 A の通常の病院機能を再開。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。